

特集

レジャー施設 集客ランキング2020

特別企画

レジャー施設の デジタルマーケティング戦略

VISUAL REPORT

水族館

新設・リニューアルプロジェクト



7月16日、「SHUKNOVA（シュクノバ）」が東京・新宿中央公園の北エリアにオープンした。緑あふれる公園の貴重な財産を活かしながら、宿場町として栄えた活気を発展させ、地域の人々やオフィスワーカー、来街者が憩い交流するかつての「宿場町の縁側空間」の実現を目指したプロジェクトだ。

施設コンセプトは「SHUKUBA REBORN」。事業主体は（株）新都市ライフホールディングスで、事業期間（公園利用期間）は20年となっている。新宿区が2017年9月に策定した「新宿中央公園魅力向上推進プラン」に基づき、18年9月に公募設置管理制度（Park PFI）を活用して募集した新宿中央公園芝生広場における交流拠点施設整備事業において同社のプランが採択された。

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）の関連会社である同社は、商業施設の開発、管理・運営事業やPM受託事業、集合住宅等の管理組合業務受託事業などを展開し多数の実績を有しているが、今回のような公園における交流拠点施設整備事業を手がけるのは初めてとなる。

施設は低層（地上2階建て）で芝生広

場を全面的に受け止め一体となるようなデザインとなっている。レストラン（むさしの森Diner）とカフェ（スターバックス）を1階に配し、アウトドア

PARKERS TOKYOの運営業務を新都市ライフホールディングスから受託している（株）BEACH TOWNの代表取締役 黒野崇氏は、

Park-PFIを活用した 新宿中央公園 交流拠点施設

SHUKNOVA
（シュクノバ）

フィットネスクラブ「PARKERS

TOKYO」（ガススタジオ／ボルドーリングジム／ランステーション）を施設1、2階お

よび屋外の公園で展開する。

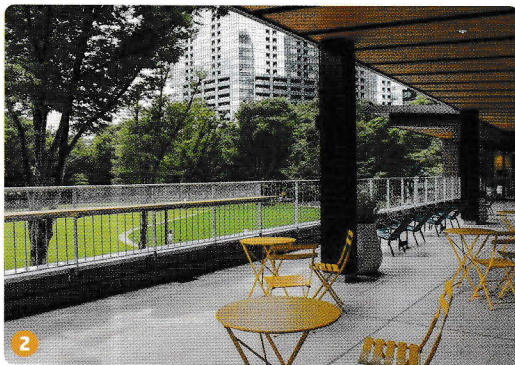
「目の前に広がる芝生広場をはじめ、緑豊かな公園内という立地特性を活かした多彩なプログラムを提供し近隣住民やオフィスワーカーの健康維持・増進

に貢献したい。新宿駅と高速バスターミナル『バスタ新宿』があるので、アウトドアフィットネス・ツアーも企画しやすいと考えています」と意気込みを語る。

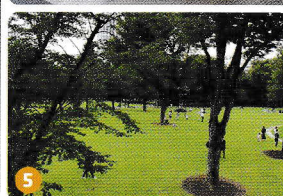
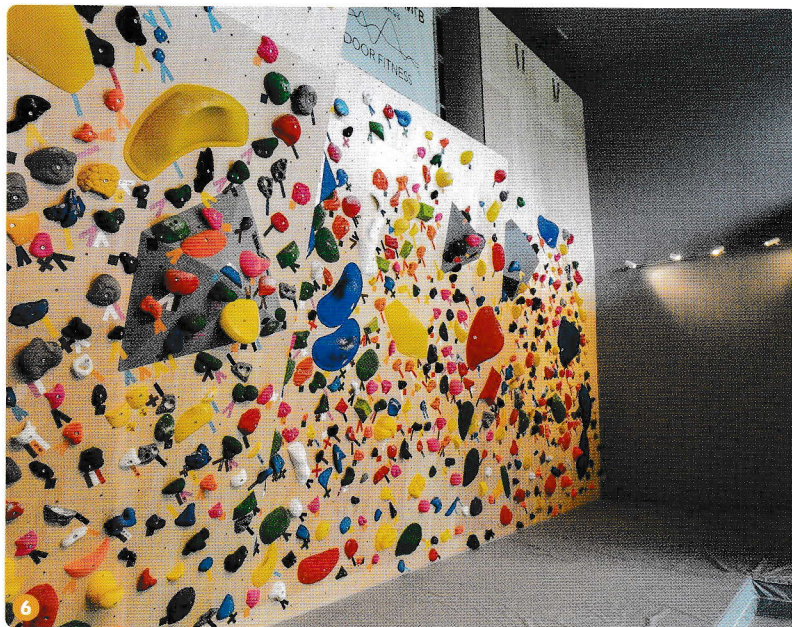
7月16日にリニューアルオープンした芝生広場は、指定管理者の新宿中央公園パークアップ共同体（共同体代表…（財）公園財団）の管理エリアだが、公園の魅力向上を図るために新宿区との協議手続きのうえで、PARKERS TOKYOのプログラムにおいても利用可能となっている。9月からはその公園を活用した、放課後「アウトドアフィットネスクール」も開校予定である。

このほか、SHUKNOVAの2階テラスは「MIHARASHI TERRACE」、1階のむさしの森Dinerとスターバックスの店舗前は「ENGAWA TERRACE」と名づけられ、公園利用者など誰でも無償で利用できる「特定公園施設」の扱いとなっている。

新都市ライフホールディングスの担当者は、「コロナ禍でのスタートとなりましたが、多くの方に愛される憩いの場となるよう、長期的な視点で運営していきたい」と今後を見据える。



1. デザインコンセプトは「森のEN-GAWA」。レンガ積みや木材など、場所の記憶につながる自然素材を外装材のアクセントとして使用
2. 誰でも無償で利用できる「MIHARASHI TERRACE」
3. インドアとアウトドアを融合したさまざまなフィットネスプログラムを月間約180本提供



- 4.5. 開放感あふれるスタジオ。目の前には芝生公園が広がる
- 6.1~2階の吹き抜け空間にレイアウトされたクライミングウォール

施設概要

所在地	東京都新宿区西新宿2-11-5 (新宿中央公園内)
オープン	2020年7月16日
事業主体	株新都市ライフホールディングス
施設コンセプト・デザイン監修	(同)スタジオモンス
施設内容	1階：むさしの森Diner (約340㎡)、スターバックス (約170㎡)、1・2階：PARKERS TOKYO (約380㎡)



7.8.「むさしの森珈琲」の進化系レストラン業態の1号店「むさしの森 Diner」(107席)